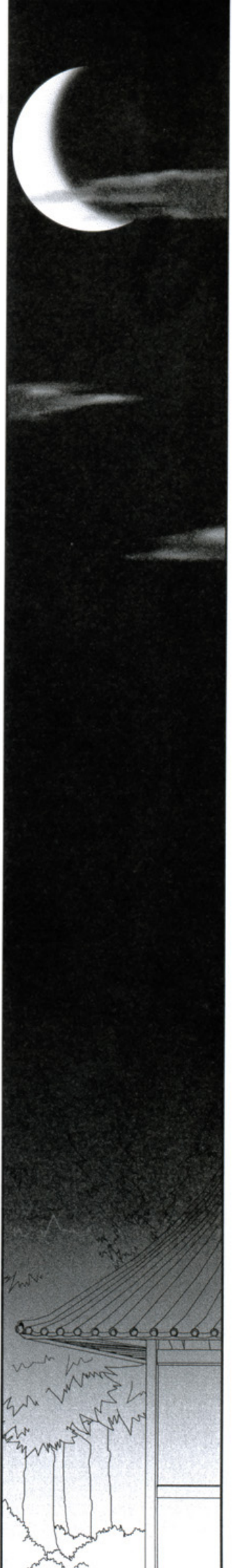
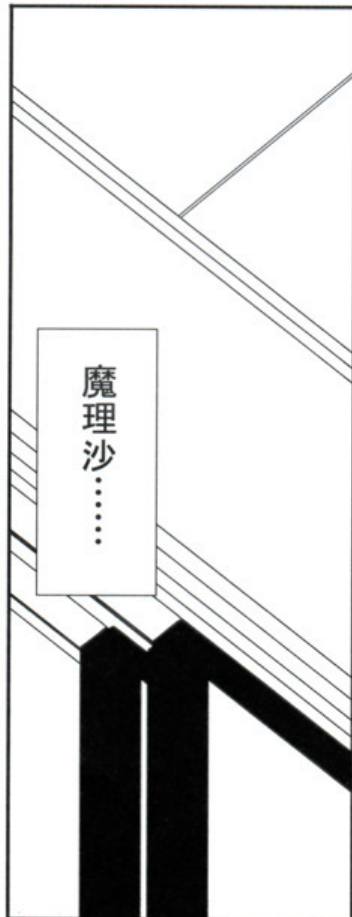
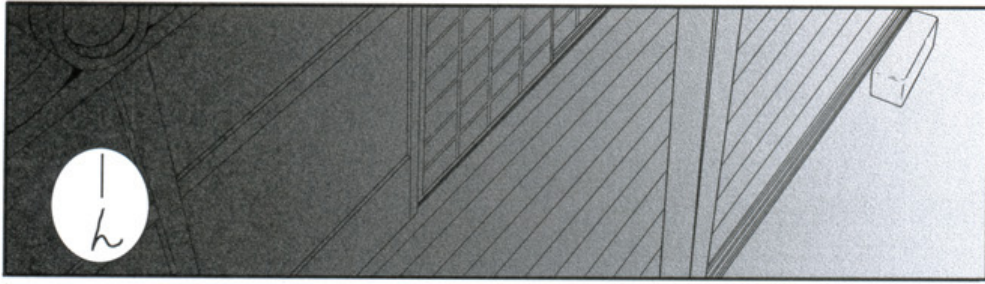
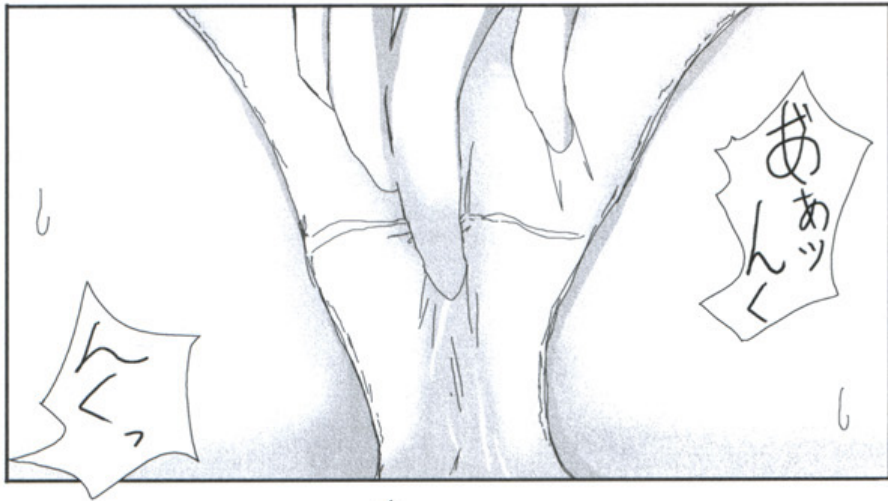
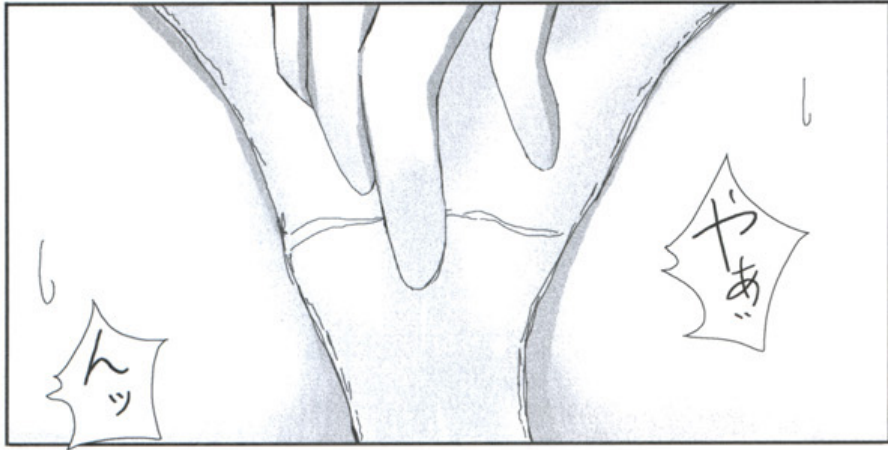
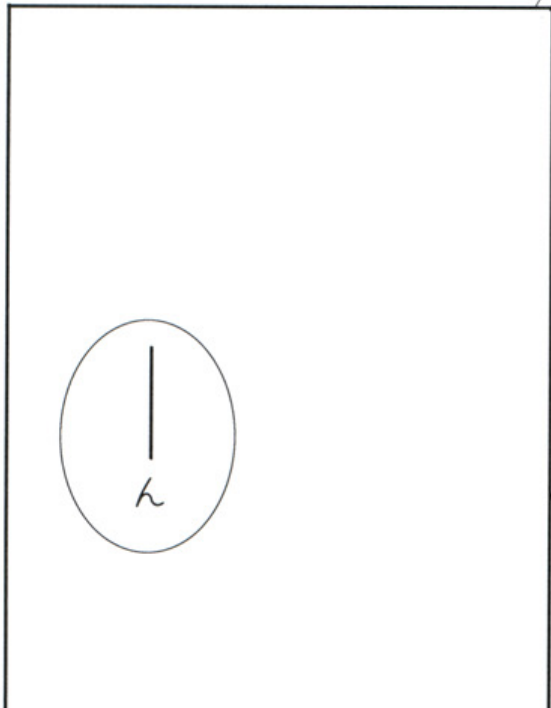
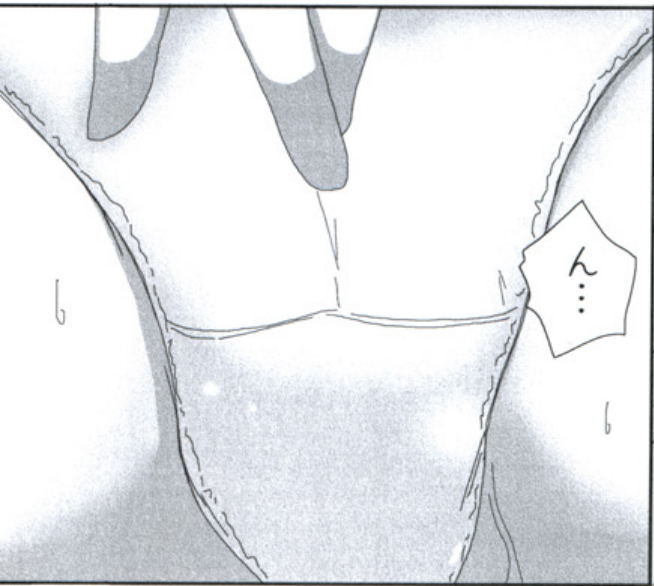


幻想綺譚 IV







—
ん

はあ

はあ

魔理沙……

はあ





彼女が
いない時は

いつも
彼女のことを
考えてしまう



会いたい…



胸が……

……
苦しい



もし私が巫女…
女じゃなかったら

ひとつに
なれるのに……

でもそれは

私は…

博麗の

望んでは
いけないこと…

巫女なのだから

—
そう

望んでは…
…いけない

ガ
タ
ッ

誰
っ
？

紫？



こんばんわ

どうしたの？
突然来るなんて



たいした用じゃ
ないんだけど

最近のあなたを
見ていると



ちよつと
もどかしくてね

もどかしい？



一体何の
ことかしら？

あら、
とほげちゃって

私気づいて
いないと
思ってる？



な、何の
ことよ？





さっき
口づけした時に

ちよつとした
仕掛をさせて
もらったわ



これで
あなた
の
眼には

私があの子に
見えるはずよ
クス



まずは
邪魔なものを
取らないとね♪

ひゃあッ
ちよ、
ちよつとッ!
ちよつとッ!



え…何で…??

じゃあ

はじめ
ましょうか

魔理沙…??



この子の姿を
見ただけでもうこんなに
濡らしちゃって

これなら
準備しなくても
大丈夫そうね♪

あつ…やだ…

まり...さ.....



ちゅ

じゃ
私からね

ほら
霊夢



霊夢
もつと舌を
使いなさい



んめ
んッ

お舐めなさい



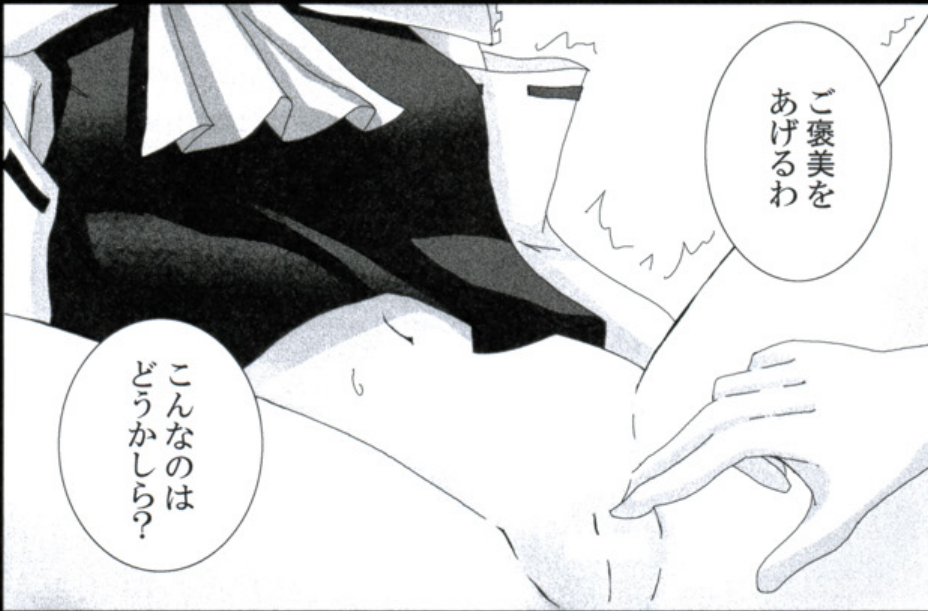




もう…だめ…
何も…
考えられない…



クスッ
上手じゃない
霊夢



ご褒美を
あげるわ

こんなのは
どうかしら？



あの子とひとつに
なりたいんでしょ

い、嫌ッ



そのために
必要なものよ

いやああッ



ひ
ッ

何ッ



フフツ
こすれて気持ちいい
でしょう?
まだ出しちゃだめよ



そろそろ
いいわね

あまり
焦らすのも
可愛そうだし







あらあら

あなたにはちよっと
刺激が強すぎた
かしら？



藍

はい
紫様

この子を
連れて帰るわ



しばらくは
イッた感覚が
抜けないわ

ま……りさ

博麗の巫女も
こうなったら
ただの人間ね

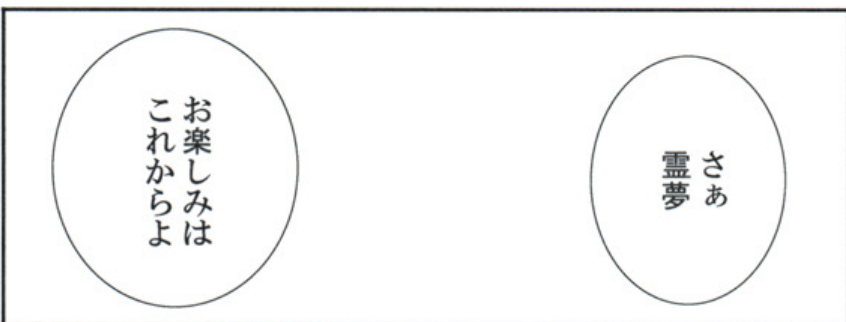


し、しかし
神社に巫女が
いないのは
まずいのでは？

あら
私を誰だと
思っているの？

多少のことなら
なんとかなるわ
それとも、
私に意見する気？

い、いえ



さあ
霊夢

お楽しみは
これからよ





ゲストよんで頂き
ありがとーござます!
これから仲良く
酒とかおぼってくださーい!!!
さとうきび

■ あとがき

こんにちは、六堂です。
この本をてにとっていただき、ありがとうございます。

今回は霊夢と紫をメインに描いてみたいと思い、
ガーって描いてみたんですが、
なんだかたとても暗い話になってしまいました。
しかも投げっぱなし。°·(ノД`)'°·。
次は今回の続きのような話になると思います。
明るくまとまった話を描けるといいな！

本編が暗かった分、さとうきびさんの明るい
ゲスト原稿には救われました。°·(ノД`)'°·。
また、機会があればよろしく！
いつでも酒なら奢るぜ！！

更に、いつものことながら原稿手伝って下さった、
お湯さん、7cさん、べっちさん、
サンキューッ！サンツキューッ！、(´▽`)ノ
また飲みに行こうぜッ！！

次は受かっていれば夏コミ、
落ちてれば夏にある大阪の
イベントに参加
する予定です。

それでは、また！

07.05 某日
六堂 犬彦





「ずっと見てました」

■ 発行日 20070520

■ 発行 231179=ROCK

発行者 六堂 犬彦 (Rikudo Inuhiko)

連絡先 <http://231179rock.sakura.ne.jp/>
231179-rock@goo.jp

■ 印刷所 HOPE21

18歳未満閲覧禁止

禁無断転載・複写

231179=ROCK